

2026年3月2日

各 位

株式会社ルミライズと日本大学医学部総合医学研究所が
脱分化脂肪細胞（DFAT）の静脈投与に関する受託研究契約を締結！
～「高度な再生医療の提供によるグローバル社会への貢献」を目指して～



脱分化脂肪細胞（DFAT）を使用した人間・動物向けの治療法を開発する再生医療ベンチャー、株式会社ルミライズ（以下、「ルミライズ社」といいます。）が、日本大学医学部総合医学研究所（以下、「日大医学部総研」といいます。）とヒト脂肪組織からの脱分化脂肪細胞（DFAT）の静脈投与の安全性に関する研究委託契約を締結いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

ルミライズ社は、当社が株式 35.99%を保有する持分法適用関連会社になります。

1. 本研究の背景と目的

ルミライズ社はこれまで、ウマ、イヌ、そしてネコ（日本医科大学との共同研究）等の動物を対象としたDFATの作製法確立および治療実証において実績を積み重ねてまいりました。

これらの実績を基に、この度、日大医学部総研においてヒトへの静脈投与における安全

性試験を実施することに合意いたしました。本研究により、ヒトへの DFAT の静脈投与が可能となります。

[これは、日本で初めて DFAT の静脈投与の提供を推進する極めて重要な取り組みとなります。](#)

◆日本大学医学部総合医学研究所について

https://www.med.nihon-u.ac.jp/research_institute/outline.html

所在地：東京都板橋区大谷口上町 30 番 1 号

概要：昭和 52 年に医学に関する学理・技術の総合的研究を行うことを目的に設置。有機的かつ効率的な研究支援体制を整備し、産学連携研究の推進や企業からの受託研究を積極的に受け入れるなど、高度な医学研究成果の社会還元に従事しています。

2. 今後の展開と社会実装の加速

本研究の成果により、ヒトに対しての DFAT の安全な静脈投与に関する活用が、現実のものとなります。

これにより、病院やクリニック等の医療機関は、ルミライズ社の提供する研究データを使用し、提携先である社団法人日本臨床幹細胞研究会の特定認定再生医療等認定委員会（厚生労働省認定）を経て、お客様に DFAT の静脈投与を提供することが可能となります。本連携は、大学の研究力、医療団体の臨床ネットワーク、企業の技術・事業化力を統合するものです。

再生医療領域における社会実装を加速させ、医療・バイオ領域での持続的な成長基盤を構築してまいります。

今後、ルミライズ社が実施していく事業状況など、随時お知らせをしていきます。

なお、本件が当社の業績等に与える影響はございません。



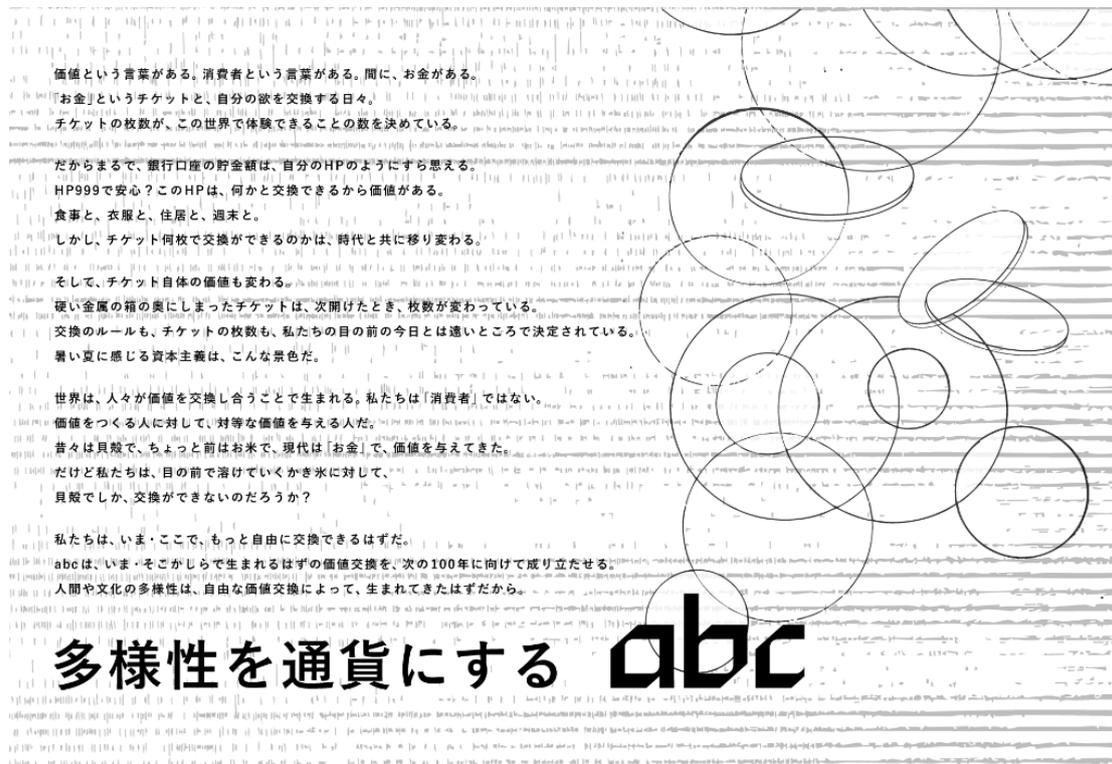
株式会社ルミライズ <https://lumirise.jp/>

東京都中央区新川 2-6-2 石橋ビル 506

代表取締役 菅原 広隆

事業内容：脱分化脂肪細胞を利用した新再生医療法の開発

動物に対する新再生医療法の開発、細胞の開発・培養・管理事業



価値という言葉がある。消費者という言葉がある。間に、お金がある。

「お金」というチケットと、自分の欲を交換する日々。

チケットの枚数が、この世界で体験できることの数を決めている。

だからまるで、銀行口座の貯金額は、自分のHPのようにすら思える。

HP999で安心？このHPは、何かと交換できるから価値がある。

食事と、衣服と、住居と、週末と。

しかし、チケット何枚で交換ができるのかは、時代と共に移り変わる。

そして、チケット自体の価値も変わる。

硬い金属の箱の奥にしまったチケットは、次開けたとき、枚数が変わっている。

交換のルールも、チケットの枚数も、私たちの目の前とは遠いところで決定されている。

暑い夏を感じる資本主義は、こんな景色だ。

世界は、人々が価値を交換し合うことで生まれる。私たちは「消費者」ではない。

価値をつくる人に対して、対等な価値を与える人だ。

昔々は貝殻で、ちよっと前はお米で、現代は「お金」で、価値を与えてきた。

だけど私たちは、目の前で溶けていくかき氷に対して、

貝殻でしか、交換ができないのだろうか？

私たちは、いま、ここで、もっと自由に交換できるはずだ。

abcは、いま、そこかしらで生まれるはずの価値交換を、次の100年に向けて成り立たせる。

人間や文化の多様性は、自由な価値交換によって、生まれてきたはずだから。

多様性を通貨にする abc

■ abc 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abcは「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abcのグループ企業ネットワークにも「Tokenized by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目9番17号 赤坂第一ビル11階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上